



2021年10月15日

各 位

会 社 名 日揮ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長 CEO 佐藤 雅之
(コード番号 1963 東証第1部)
問合せ先 グループ経営推進部
コーポレートコミュニケーション
グループマネージャー 山上 晃弘
(TEL 045-682-8026)

当社に対する訴訟の和解に関するお知らせ

当社は、イクシス LNG プロジェクトに関する顧客との仲裁と並行して進めてきた交渉において、2021年10月15日付で最終合意に達したことに伴い、2021年5月10日に開示した「当社に対する訴訟の提起に関するお知らせ」にある訴訟が和解により解決することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訴訟の提起から和解に至るまでの経緯

当社グループは、米国 KBR 社及び千代田化工建設株式会社と共同でジョイントベンチャー（以下、「JV」といいます。）を組成し、株式会社 I N P E X の持分法適用関連会社である I C H T H Y S L N G P T Y L t d（以下、「顧客」といいます。）から 2012 年に液化天然ガス等を生産する陸上ガス液化プラントの設計・調達・建設役務（以下、「本プロジェクト」といいます。）を受注し、2018 年にプラント設備を完成、引渡しました。

本プロジェクト遂行の過程では、JV と顧客との間で種々事項について意見の食い違いが生じ、これを解決すべく仲裁を開始し、並行して交渉を継続してきました。

この件に関連して、顧客は 2021 年 4 月 16 日付で横浜地方裁判所にて当社に対する訴訟を提起しました。

その後、交渉を継続した結果、2021 年 10 月 15 日付で最終合意に達し、本件訴訟及び本プロジェクトに関連する顧客との仲裁は和解により終結することとなりました。

2. 和解の相手方の概要

- (1) 名 称 I C H T H Y S L N G P T Y L t d
- (2) 所在地 オーストラリア連邦西オーストラリア州パース市セント・ジョージス・テラス 100 22 階

(3) 代表者の役職・氏名 代理取締役 村山 徹博

3. 和解の内容

顧客および JV それぞれがこれまで提出済みの請求を取り下げることを中心とした和解となります。

4. 今後の見通し

この和解による損失は 2022 年 3 月期第 1 四半期に引当計上済みであり、追加損失はありません。

以上